

建築学科			建築CAD				
学年	第4学年	担当教員名	西澤 岳夫・大槻 香子				
単位数・期間		2単位	前期	週当りの開講回数	2回	必修	履修単位
授業の目標と概要		実際に標準的なCADソフトで操作することにより、情報技術を利用した建築設計技法を習得する。2次元作図の演習を通して、CADの基礎的な知識を習得し、3次元におけるモデリングの演習を通して、CADの専門的知識を応用した建築設計製図の作図を実施する。					
		釧路高専目標	C:100%		JABEE目標	c	
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		演習課題は、1回の講義につき2～3課題を出題する。提出期限を守りかつ、未提出課題をつくらないように、講義中に提出できなかった課題については自習にて提出する。各自所有のパソコンに講義で使用する体験版ソフトをインストールし、自宅で復習することが望ましい。					
到達目標		建築CAD検定3級レベルの2次元作図による建築平面図作成ができること。 3次元における建築物のモデリングが作成できること。					
成績評価方法		合否の判定は定期試験2回の平均点において決定する。 評価基準は、定期試験50%、小テスト40%、提出状況10%とする。					
テキスト・参考書		教科書: VectorWorks12学習帳(エクснаレッジ) 参考書: 超入門VectorWorks12で学ぶ建築製図の基本(エクснаレッジ)					
メッセージ		建築CADを身近な存在として道具化してほしい。 そして、建築CAD検定3級の合格レベルに達してほしい。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
講義のガイダンス、CADの概略と簡単な作図(1回) 2D製図の基本操作(7回) 建築CAD検定・3級レベルの練習(2回) 建築平面図の作成手順の練習(3回)				ドローイングソフトとの違いを理解できる。 図形選択、編集操作を理解できる。 素早く2次元作図の入力ができる。 レイヤーを使った建築平面図の作図手順を理解できる。			
前期中間試験				実施する			
3Dの基本操作(4回) シンボルについて(3回) 建築作品のモデリングとレンダリング(9回)				レイヤーを使った建築平面図の作図手順を理解できる。 3次元モデル、編集方法を理解できる。 シンボルの概念を理解でき、シンボルの作成ができる。 建築作品のモデリングが行える。			
前期期末試験				実施する			
後期中間試験							
後期期末試験							